

2016年理系第4問

数理  
石井

4  $t$  を実数とし、 $xy$  平面上に直線  $l: y = tx$  と曲線  $C: y = \log x$  がある。次の問いに答えよ。

- (1)  $l$  が  $C$  と共有点をもたないとき、 $t$  のとり得る値の範囲を求めよ。  
 (2)  $l$  が  $C$  と接するとき、 $l$  と  $C$  および  $x$  軸で囲まれた部分の面積  $S$  を求めよ。  
 (3) 正の実数  $a$  に対して、 $C$  上の点  $A(a, \log a)$  と  $l$  の距離を  $f(a)$  とおく。  $f(a)$  の最小値を  $t$  を用いて表せ。

(1)  $(\log x)' = \frac{1}{x}$  より、 $l$  と  $C$  が接するときを考え、接点を  $(s, \log s)$  ( $s > 0$ ) とすると、

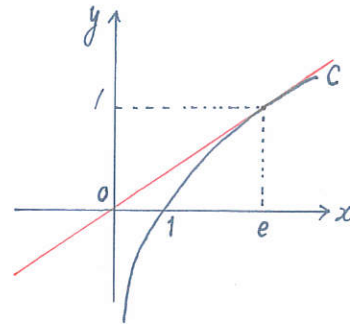
接線は、 $y = \frac{1}{s}(x-s) + \log s$

$\therefore y = \frac{1}{s}x + \log s - 1$

これが原点を通るので、 $s = e$

$\therefore$  接線は  $y = \frac{1}{e}x$

$\therefore$  共有点をもたないときの  $t$  の範囲は、 $t > \frac{1}{e}$  //



(2) (1) のグラフより、

$$\begin{aligned}
 S &= \text{triangle } OAE - \int_1^e (\log x) dx \\
 &= \frac{1}{2} \cdot e \cdot 1 - \int_1^e (x)' \log x dx \\
 &= \frac{e}{2} - [x \log x]_1^e + \int_1^e dx \\
 &= \frac{e}{2} - e + e - 1 \\
 &= \underline{\underline{\frac{e}{2} - 1}} //
 \end{aligned}$$

(3)  $t \leq \frac{1}{e}$  のときは  $C$  と  $l$  は共有点をもつので  $f(a)$  の最小値は 0

$t > \frac{1}{e}$  のときは、点と直線の距離公式より、

$$f(a) = \frac{|at - \log a|}{\sqrt{t^2 + 1}} = \frac{at - \log a}{\sqrt{t^2 + 1}} \quad \therefore f(a) = \frac{at - 1}{a\sqrt{t^2 + 1}} \quad \therefore f(a) = 0 \text{ とするのは } a = \frac{1}{t} \text{ のとき}$$

$\therefore$  最小値は  $f\left(\frac{1}{t}\right) = \frac{1 + \log t}{\sqrt{t^2 + 1}}$

$\therefore t \leq \frac{1}{e}$  のとき 0,  $t > \frac{1}{e}$  のときは  $\frac{1 + \log t}{\sqrt{t^2 + 1}}$  //

$a$	$(0)$	$\dots$	$\frac{1}{t}$	$\dots$
$f'(a)$		$-$	$0$	$+$
$f(a)$			$\downarrow$	$\uparrow$